



薬小っ子スタンダード
当たり前のことを
当たり前に行ける子に

薬師寺小だより

平成31年 3月
下野市立
薬師寺小学校長
鈴木 一恵



家族のための
お手伝い

やさしく



家族との会話

かしこく



家族と一緒に
正しい食習慣

たくましく

おめでとう、6年生!

卒業式



桜のつぼみが少しずつ膨らみ始めた校庭では進級を目前にした子ども達心が弾ませ遊んでいます。6年生にとってはこの校庭で遊ぶのもあと少しとなりました。

3月19日に卒業式が挙行され、49名の卒業生が薬小の思い出を胸に巣立っていきます。在校生も職員も卒業生への感謝と惜別の思いで胸がいっぱいです。

保護者の皆様におかれましては、立派にご成長された姿を誇らしく見つめていらっしゃると思います。これまで本校の教育活動に深い御理解と温かい御支援御協力を賜りましたことに心より感謝申し上げます。



2月26日に「6年生を送る会」が行われました。5年生の企画運営により6年間の思い出スライドショーや各学年の心のこもった出し物が披露されました。一人一人手作りのメッセージカードも作り、ありがとうの気持ちを伝えました。

6年生の出し物は寸劇を入れたクイズ。ユニークな発想でストーリーが展開され、体育館が笑いの渦となりました。

給食の時間には最後の「なかよし給食」を実施しました。担当の先生の教室で6年生を囲み楽しいランチをしました。



1年生 群読「くじらぐも」
1年生の頃を思い出してね!



2年生 合唱「100%勇氣」
6年生にエール!!



3年生 「6年生のここが
すごい!! ランキング」



4年生 合唱「はじめの一步」
歌声、6年生の心に届け!!



6年生のパフォーマンス
いっぱいの楽しい出し物



最後のなかよし給食メニュー
はみんな大好きカレーライス

真面目であることを誇りに

卒業文集に
寄せて

創立145年という長い歴史を刻む薬師寺小学校を巣立つ皆さん、御卒業おめでとうございます。小さくあどけなかった入学の日の自分と今ここにいる自分を比べてみると、小学校6年間の月日の流れの重さや深さを感じることでしょ。う。いっばいの友達、いっばいの思い出、そして、たくさんの感謝に満ちた6年間でしたね。御家族、地域やボランティアの皆様、お世話になった先生方など見守ってくださった多くの方々が皆さんの卒業を祝福しています。

私と皆さんとの出会いは4年生からでした。3年間、ずっと見続けてきた皆さんの姿を一言で表現するとしたら「真面目」という言葉が一番ふさわしいと思います。皆さんの姿は本校の校風をしっかりと受け継いだ姿であったと思います。

「真面目(まじめ)」とは「本気であること。真剣であること。」「真心がこもっていること。誠実であること。」という意味です。さらに「真面目(しんめんもく)」という言葉もあり、こちらは「人や物事のありのままの姿。本来の価値。」という意味です。(「明鏡国語辞典」より)

これらの意味と照らし合わせてみると、本校の最高学年として立派に活躍された皆さんの姿がいくつも思い出されます。

例えば、登校班や清掃班、なかよし班活動でリーダーシップをとる皆さんは、下級生に対して真心をこめて誠実に接していましたね。学習や運動ではめあてに向かって本気になって取り組んでいました。特に課題解決学習で互いの考えを伝え合いながら学び合う姿は真剣そのもので感心しました。

何事にも「真面目」に取り組むということは自分の誇りとなることです。でも、時には、それがくすぐったいような恥ずかしいような気がしてしまうことがあります。時には真面目にやっている人をからかってしまうようなこともあります。自分のありのままの姿をさらけ出して一生懸命に取り組んでいる姿は、実に爽やかに輝いている瞬間なのですが、自分の心の中の弱い心が勝ってしまうことがだれにでもあります。そんな時、人は息け心が先行し楽な道を選択してしまうものです。

もし、これからの中学校生活で「真面目」な心に従って行動することが難しいと感じたときは、皆さんをこれまで育ててくださった親御さんや御家族の方々を思い出しましょう。

なぜなら、この世に授かった皆さんの命を毎日毎日真剣に見つめ、真心を込めて一生懸命に育ててくださった親御さんや御家族のお姿こそが「真面目」そのものなのですから。

これからもずっと、大きな愛と優しさであなたたちを守ってくださることでしょ。う。あなたたちが気付かなくてもいつでも隣を歩いていてあげたい。そんな思いで寄り添い見守ってくださいに違いありません。

なぜ、そうしてくださると思いますか。それは、この世に授かった子供の大切な命、そのたったひとつの命が送る、たった一度の人生を自分らしく輝いて生きて欲しいからです。

「真面目であること」は自分の誇りであり、「自分の道」を切り拓いていくためのキーワードです。最後にこれからスタートする中学校生活が新たな自分探し、自分作りの3年間となることを心から願い、山本有三『路傍の石』の一節を贈ります。

たったひとりしかない自分を
たった一度しかない一生を
ほんとうに生きさなかつたら
人間うまれてきたかいが
ないじゃないか



『路傍の石』(山本有三 作)より



3月22日には1～5年生が修了式を迎えます。どの学年も1年間の教育課程を修了し4月には立派に進級します。新しい学年への希望に溢れた子どもたちの姿が春の光に輝いています。

昨年4月に入学した**1年生**の成長ぶりには目を見張るものがあります。自分の力でたくさんのことを成し遂げました。**2年生**は1年生のお兄さんお姉さんとなり心が大きく成長しました。自分の考えを相手に伝えられるようにもなりました。**3年生**は友だちと過ごすことの楽しさを知り、連帯意識が育ちました。生き生きと楽しく生活しました。**4年生**は自分のことばかりでなく、友だちのことも気遣う言動ができるようになりました。本もたくさん読んで心の栄養を蓄えました。**5年生**は高学年となり自分の決めた目標に向かって一生懸命に運動や勉強に励みました。6年生の姿をお手本に学校行事や委員会活動で活躍しました。

今年度最後の集会では、学年の締めくくりをしっかりと行い、自信をもって進級して欲しいという願いから、「画竜点睛（がりょうてんせい）」という言葉を用いてお話しました。どの学年も話の内容を理解して最後まで頑張りました。本校の目標としてきました「心のたね・頭のたね・体のたね」の3つのたねを自分自身でしっかりと育てた子どもたちの姿を見届けることができ、校長としても大変嬉しく思います。

保護者の皆様には、健康安全管理、家庭学習や家読、PTA活動や学校行事など、言い尽くせないほどたくさんの御協力を頂きました。ありがとうございました。

中国に張僧繇(ちょうそうよう)という有名な画家がいました。彼は、中国の南京の安楽寺という寺の壁面に4匹の龍を描きましたが、その龍のひとみを入れなかったそうです。そして、そのことを人に聞かれると「ひとみを入れると飛び去ってしまうからだ」と答えたそうです。しかし、人々は信用しようとしません。そこで彼は一匹の龍に睛(ひとみ)を入れました。すると、にわかには雷鳴がとどろき稲妻が走って、その龍が壁を破って踊り出し、雲に乗って天に昇って行ってしまったそうです。あとで見ると、睛(ひとみ)を入れなかった龍はそのまま残っていたそうです。未完成のまま作品を残しておきたかったのです。

睛(せい)とは「ひとみ」です。「物事の肝心なところ」という意味です。「画竜点睛」とは、「最後に、最も重要なところに手を加えて仕上げをする。」という意味です。

反対に「画竜点睛を欠く」という言葉で使うことがあります。それは、ほとんど完成しているが、肝心なところが抜けているために、全体がだめになってしまうという意味です。

平成30年度の終わりが迫ってきました。大事なまとめの時期です。最後の仕上げの時期です。自分の「睛(ひとみ)」になるところを最後にしっかりと入れて、一年間の締めくくり、最後の仕上げをしましょう。

交通安全ボランティアの皆様 交通指導員の皆様 ありがとうございました

児童の登下校を見守って下さった皆様、大変お世話になりました。困っているときにも親身になって対応して頂き、お陰様で交通事故に遭う子どもなく安全に登下校することができました。6年生も皆様とふれあった6年間を心の宝物として、無事に本校を巣立っていくことができます。

「毎日、子どもたちに会うことが元気の素です」と、児童へのメッセージが届きましたので紹介させていただきます。

たくさんのお手紙ありがとうございました。皆さんからの感謝の心を嬉しく思います。今年も無事横断させることができ安堵しています。大きい子は小さい子の面倒をよく見て歩いています。また、低学年の子は高学年の言うことをよく聞いていますね。これからも安全に学校へ登校できるようお手伝いさせていただきます。

赤信号を待っているときはふざけたりしないで、車の往来をよく見て下さい。

横断歩道を渡ってから道の端を歩いて、道路いっぱい歩かないように注意しましょう。

「おはようございます」と朝は元気にあいさつをこれからもしましょう。

4月から1年生が加わり、皆さんは新学年ですね。

私も明るく頑張ります。よろしくお願ひします。安全に登下校を心がけて、新学年お勉強、運動、頑張ってください。児童の皆さんの活躍を期待しています。

2/15 第3回学校運営協議会が 開催されました

学校運営協議会委員の皆様へ、4月に承認された教育計画の実施状況及び学校評価の報告をさせていただきました。実際に校舎内や児童の様子も御覧頂き、本年度の教育の成果を確認していただきました。詳しくは本校ホームページに掲載してありますので御参照ください。

(参加者) 谷萩昌道様 蓬田 優様 館野法子様
高山信夫様 高橋葉子様 大貫義見様
校長 教頭 教務主任 地域連携教員

(内容)

- (1) 学校施設・授業参観・学校評価
- (2) 話し合い
 - ① 校長あいさつ ② 教育活動アンケート結果
 - ③ 教育課程結果・改善策 ④ 地域連携推進状況

教育委員会事務局からのお知らせ

南河内地区における学校給食について

下野市では、南河内中学校区義務教育学校の整備に伴い、南河内第二中学校区を含めた南河内全体の学校給食の在り方について、「下野市南河内地区学校給食検討委員会」を設置し検討してまいりました。その結果、下記の方針が妥当であると平成31年1月17日検討委員会から下野市教育委員会に答申され、総合教育会議で承認されました。

<学校給食の運営方法の答申内容>

- 南河内中学校区義務教育学校の学校給食は、学校内に調理場を整備し、児童生徒に提供する「自校方式」とします。
- 南河内第二中学校区は、「親子方式」を採用し、祇園小学校(親)で緑小学校・南河内第二中学校(子)分の給食調理を行い、各校には配送します。

※会議の内容については、市ホームページに会議録を掲載していますので御参照ください。

問合せ：下野市教育委員会事務局 教育総務課

TEL：0285-32-8917